



ジャン・ラサール議員殿

謹啓

4月22日付けの貴殿からのお手紙 確かに拝受致しました。

又、4月27日に無事ご退院されました由、お伺い致しまして大変嬉しく思っております。ご無理をされることなく、引き続きご自愛下さいますことを心より希望しております。

さて、今回頂戴致しましたお手紙によりますと貴殿が来日され、小職との面会を希望されておられますが、来日の為に要する搭乗時間等を勘案致しますと、先ずは完全に健康状態を取り戻すことに専念されますことを切にお祈り申し上げます。

併せて勝手ながら当方の都合ではありますが、現在6月の株主総会を目前に控え、多忙を極めております為、誠に申し訳ありませんが日程の調整がなかなかつかないのが現状でございます。

折角のお申し出ではありますが、いずれ機会を改めさせて頂き、ご相談申し上げたく存じます。

何卒宜しくご了承頂きますようお願い申し上げます。

加えまして、アсп渓谷のアクス地区での更なる発展は、今回調印致しました協定書に基づきフランス政府はもとより貴殿の全面的なご支援無くしては、成し得ない計画であると認識しております。

弊社と致しましても早々に投資計画を見直し、政府並びに地方行政のご支援を仰ぐべく最大限の努力をばらう所存ではございますが、貴殿に於かれましても何卒ご尽力賜りますよう、よろしくようお願い申し上げます。

先ずは取り急ぎ書中をもちましてご返事申し上げます。

謹白

2006年5月8日

東洋アルミニウム株式会社
代表取締役社長